

若いけど！

Vol. 03 / 2014年10月14日発行

おばちゃん通信

発行：おばたさおり / 横須賀市池上 4-13-5 / TEL:080-1161-4031



☆小3→小6へ。小児医療費助成拡大。経済的不安を乗り越えるために…

平成26年度第3回横須賀市議会の傍聴にいきました。そこで市長は、通院医療費助成対象を小学3年生から6年生まで引き上げることを発表しました。来年10月には実施されるようです。平成25年に横須賀市が行ったアンケートによると、小学校入学前の子どもを持つ保護者が子育てするうえでの一番の悩みは「経済的な負担に関すること」でした。小児医療費助成が拡充するのは、そうした子育て世代にとっては嬉しいニュースだと思います。自治体規模が違うので単純比較はできませんが、参考までに、県内の他都市の状況は右に示す通りです。



通院医療費助成の比較

横浜市、川崎市：小1まで
 逗子市、相模原市：小3まで
 鎌倉市、藤沢市、葉山町：小6まで

・ちなみに東京23区は所得制限なしで、中学3年生まで医療費助成されます。なかでも千代田区は高校三年生までが助成対象となっています。

昨今「子どもの貧困」が大きく取り上げられています。横須賀市でも現状は厳しく、子を持つ世帯のおよそ20%が生活保護世帯及び市民税・所得税非課税世帯となっています。経済的格差は子どもの教育格差や情報や周囲の人へのアクセスの差などとして現れがちです。

経済支援などの直接的な支援以外に、格差を防ぐためには、まずネットワークの構築があげられます。子育て支援団体同士のネットワークに加え、支援を必要としている人がそれらの団体に気軽にアクセスできる、年齢に応じた支援団体の紹介などを受け取ることができる仕組みづくりが必要です。子どもがいきいきと育つには、子ども自身への支援だけではなく、保護者支援、大切です。保護者は情報や周囲の人と繋がることのできる環境から安心感を得ることが出来ます。次に子ども達自身の



「居場所」を確保すること。これは単なる「場所」ではなく、地域の大人や様々な年代の人と関わることのできる場をつくることが大切です。多くの人との出会いから視野を広げ、自分の思いを吐露できる人と出会えることを願います。居場所から心の安定を得てから、子どもへの学習面でのサポートをしていきたいです。貧困の世代間連鎖を断つために、「教育」は重要です。授業内にサポートティーチャーを配置する、タブレットなどを教育ツールとして活用する、学年を遡っての復習の機会など、公立の学校でも十分な学力をつけることのできる環境作りをしていきたいと思っています。

☆おばちゃんレポート～子ども支援の様々なカタチ～

放課後等デイサービスあっぷっぷ



放課後等デイサービスとは障がい児の学童保育のようなところですが、「あっぷっぷ」では「子どもたちの個性を大切に、生きる力を身につける」ことが理念の一つ。利用までにスタッフと家族が面談をし、それぞれの子どもの課題を明確にし、「あっぷっぷ」で過ごしていく中での個別の目標を設定しています。地域との関わりも大切にしていきたい、とのこと。「障がい児と接したことがない」ことで差別などがおこりがちです。障がいを持った子どもたちが社会と関わる場が増え、共生社会の実現に繋がれば、と思います。

たすき塾



小矢部町内会館で毎週木曜日に開かれている無料の塾です。小5、6年生、中学生が対象で、通う条件は町内に住んでいることと、他の塾に通っていないこと。地域の青少年育成推進員の方が始め、今年で3年目になります。推進員や元教員の方などがボランティアで英語、数学、国語を教えています。私は、この塾にはただ「勉強の場」というだけではない、「居場所」としての役割があるのではないかと感じています。

☆こんな声をいただきました。

・子どものことも大切だけど、老人にとっては「お墓」の心配も。市営墓地って入れますか？

→市営公園墓地は平成20年より募集を行っていません。未婚や子どもがいない人など、将来お墓を維持していくことが困難な人が増えてきました。そこで市は今年から3年計画で千区画規模の「合葬墓」を作る計画を立てました。合葬墓は従来の墓地とは異なり、血縁関係のない人と一緒に納骨されます。独り身世帯の最低限のセーフティネットとして、今全国各地で「合葬墓」が作られています。今後継承者のいなくなる墓地のことも考えると、合葬墓の形が増えてゆくのもかもしれませんね。

おばたさおり プロフィール

小幡沙央里。1985年10月3日生まれ。29歳。

1998年 横須賀市立平作小学校卒業

2001年 横須賀市立池上中学校卒業

2004年 横浜市立金沢高校卒業（52期生徒会長）

2009年 カリフォルニア大学ロサンゼルス校（UCLA）政治学部卒業

2008年～2009年 吉田雄人市議（現市長）インターンシップ

2009年～ 松尾崇鎌倉市長始め、市議・県議の方々の下で地方自治政治の研究。

2014年 学習塾退社（7月）。児童養護施設ボランティア、こども若者応援団代表。

趣味：歌（音楽、コーラス、ゴスペルなど）

ご意見、ご質問、ご相談など、皆様の声をお聞かせください！

移動事務所：080-1161-4031 または info@obatasaoiri.com

HP できました！ <http://saori-obata.info>

おばたさおりのサポーター
募集中！お気軽にお問合せ
ください。

